

～市民と農業者をつなぐ
武蔵野市農業委員会だより～

むさし



第14号 令和2年4月
編集・発行 武蔵野市農業委員会
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
Tel 0422-60-1833 (直通)
Fax 0422-51-9408 (直通)

だいじょうさい
大嘗祭へ武蔵野市産**東京うど**を供納！

令和元年11月14日に大嘗祭が行われました。大嘗祭とは天皇が即位する際に行われる儀式で、五穀豊穰を祈念し、全国を代表する農産物等を供納します。

宮内庁の要請により、全国から221品目が納められ、武蔵野市は特産品である「東京うど」を宮内庁、明治神宮、伊勢神宮、大國魂神社に供納しました。



▲生産者の後藤正昭さん・文代さんご夫妻



うど
◀供納独活御伏込祭
(10月10日)



◀宮内庁にて供納
(11月12日)

収穫祭▶
(11月7日)



大國魂神社▶
にて奉納
(11月12日)



大嘗祭に向けての道のり

山あげ（4月）

（東京で生育した根を高冷地に定植）



高冷地の視察（9月）

（多くの関係者が供納するうどの生育状況を視察）



掘り起こし・積み込み（10月）

（高冷地で育てた根株を収穫）



（収穫した根株を積み込み、武蔵野へ）

伏せ込み（10月）

（根株を室に植え付け）



収穫!

うどは2月が旬のため、11月に収穫するのはとても難しく、正直ドキドキしていましたが、蓋を開けてみたらとても立派なうどができていました。同じものはもう二度と作れません。たくさんの仲間を支えられてここまでできたことに感謝しています。



第71回農産物品評会

令和元年11月9日、10日に農産物品評会が行われました。台風15号・19号や長雨の影響もありましたが、488点もの農産物が出品されました。即売会は約25分で完売！市民の皆様により市内産の野菜や果物をお届けし、大好評のうちに終了しました。これからも安全安心で新鮮な農産物を皆様にお届けできるよう努力してまいります。



◀ 審査

審査に苦慮するほど、優れた農産物の数々です。

▶ 即売会

販売前から長蛇の列！新鮮な野菜を求めてたくさんの方が来場されました。



受賞品目	最優秀受賞者
青首大根・かぶ・きゅうり	高橋 清次 (境西部)
ブロッコリー・さといも	後藤 正昭 (境東部)
★うど	
青首大根・聖護院大根・キャベツ	田中 武徳 (吉祥寺)
かぶ	榎本 一宏 (関前)
にんじん	後藤 直久 (境西部)
こまつな	高橋 栄治 (吉祥寺)
ばれいしょ	田中 邦雄 (関前)
ばれいしょ	吉野 政男 (境南部)
かんしょ	大坂 新一 (関前)
切花 (小輪菊)	名古屋 和宏 (関前)
柿・なす	高橋 政孝 (境西部)
みかん類	高橋 宏通 (境東部)
キウイフルーツ	吉野 隆夫 (境南部)

★うどは、20年連続同一品目で受賞のため、特別賞も併せて授与。

(敬称略)

農家見学会

市民と農業者をつなぐ活動の一環として、令和元年11月16日に農家見学会を実施しました。

境 猿渡昇さんの畑



無農薬野菜を栽培するのがいかに大変か、お話に興味津々です。

関前 榎本清一さんの畑



相続で農地が減ってしまうとの説明を受け、維持していくことの大変さを実感していました。

吉祥寺 田中政伯さんの畑



市内で唯一のしいたけ生産者。収穫体験では、どのしいたけを採ろうか、大興奮です！

令和元年度に表彰されたみなさま

第59回企業的農業経営顕彰	櫻井 義則・幸子 (関前) 高橋 宏明 (境西部)
第39回農業後継者顕彰	田中 博崇 (吉祥寺)
第46回農業委員会等 功労者表彰	大坂 新一 (関前) 榎本 正孝 (西窪)
令和元年度新規就業者奨励賞	宮崎 清 (境西部) 田中 美由紀 (吉祥寺) 田中 千夏 (吉祥寺)
令和元年度北多摩地区 優秀農業経営者表彰	中村 勉 (関前)
第29回武蔵野市産業功労者表彰	高橋 一男 (境西部) 中村 孝史 (関前)

(敬称略)

武蔵野市東京うど品評会

令和2年2月12日に受賞された皆様をご紹介します。



最優秀賞	後藤 正昭 (境東部)
優秀賞	田中 武徳 (吉祥寺)
優秀賞	田中 恒男 (吉祥寺)
優秀賞	田中 裕志 (吉祥寺)
優秀賞	高橋 宏通 (境東部)
優秀賞	田中 恒男 (吉祥寺)
優良賞	後藤 正昭 (境東部)
努力賞	田中 裕志 (吉祥寺)

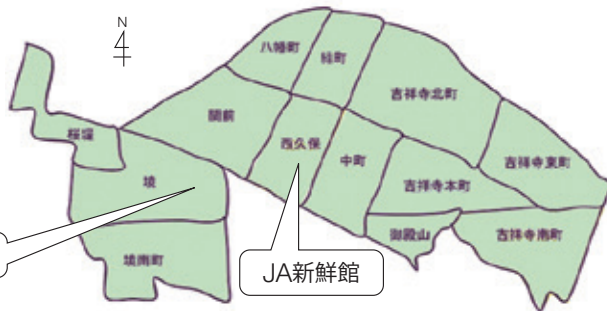
(敬称略)

「新鮮で安全・安心な野菜はすぐそばに」生産者の笑顔



実(みのり)さん

武蔵野市内で活躍する農家の方々をご紹介します。



下田さん宅

JA新鮮館



豊(ゆたか)さん

下田 誠一さん (境1丁目在住)



武蔵境駅から徒歩5分、駅近に残る希少な農地で露地野菜を作り続ける下田さん。父の他界を機に就農したのは41歳の時。相続時「農地とは何か」から勉強、農業は右も左もわからなかったと当時を振り返ります。今は全てを一人でやり繰りし、新鮮館に出荷しています。「Uターン就農なので、若い人達のように積極的には出来ない」と終始謙遜されていましたが、武蔵野市農業経営者クラブの会長を3期に渡って務め、農政活動にご尽力されています。

市内初の東京都指導農業士が誕生しました



令和元年12月18日に東京都指導農業士認定式が行われました。指導農業士とは、優れた農業経営を行いつつ、新規就農者等の育成に指導的役割を果たしている農業者が各都道府県の知事から認定され、地域農業の振興に関する活動を行っています。都内では、現在99名の方が農業の活性化・発展に大きな役割を果たしています。

武蔵野市の農業振興のため、ご活躍を期待しています。

◀左から田中恒男さん、大坂新一さん、榎本一宏さん

酒田市・那覇市との交流



11月5日に酒田市、同月19日に那覇市の農業委員会が視察に来られました。酒田市とは農業委員会だよりについて意見交換を行いました。

那覇市では都市化が進んでおり、近隣他市で農業を営む「通勤農業」という言葉が印象的でした。視察対応は、他市との交流を通じ、お互いの農業を知るとても良い機会となりました。

イベントカレンダー

(令和2年度上半期)

イベント名	時期	場所
ほおずき市・野菜の即売会	6月下旬から7月中旬の月曜日	市役所 正面玄関前
夏野菜品評会 展示と試食会	7月6日(月)	市役所1階ロビー・正面玄関前

※4月現在の予定です。詳しくは市報・HPでご確認ください。

事務局ごあいさつ

創刊時より編集に携わってまいりました。取材を通して農業の魅力や生産者の思いを肌で感じる事ができました。今後は『むさし農』愛読者として、旬な農業情報を楽しみにしております。お世話になった皆様に、この場を借りて感謝申し上げます(高島淳子)

令和元年10月に農政係に着任しました。よろしくお願いたします(森麻衣子)
編集委員/櫻井真二郎、田邊安輝子、船木忠秋、桑津昇太郎、齋藤久枝、田中恒男

特定生産緑地申請率

71%

※申請者ベースでの割合
※申請=指定ではありません